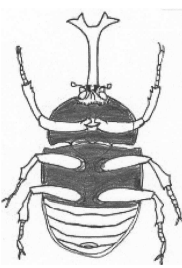
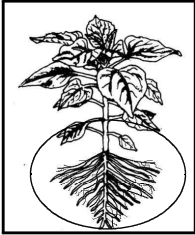
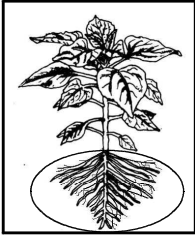

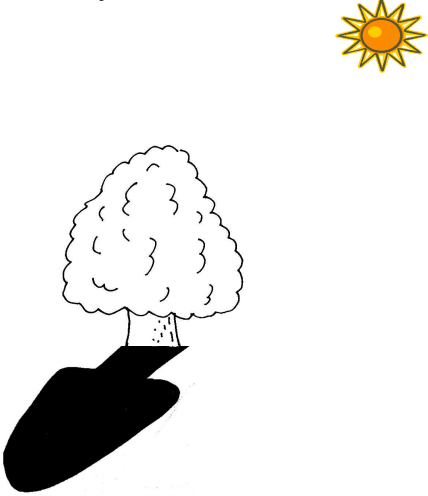


※解答例であり同意であれば可

大問	中間	小問	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点																
1	29点	(1)	①	思考表現	○住みやすさについて漠然とした理由を書いている。 ・住みやすいから。 ・バッタのすみかにしているから。	1	○食べ物、または身を守る視点から、理由を書いている。 ・体をかくすのに都合のいい場所だから。 ・バッタが食べるえさ(草)があるから。 など	3																
		(2)	②	知識理解			・チョウ：花だん (各1点) ・カブトムシ：森の中	2																
		(3)	③	知識理解			・あたま ・はら (順不同) ・6 (各1点)	3																
		(4)	④	技能	○胸と重なるあしの部分も一緒に塗りつぶしている。  ○胸は全面色ぬりができているものの、はみ出して、頭、腹に色がかかっている。	5  3	○胸の部分の色ぬりができている。 	6																
		(5)	⑤	思考表現	○昆虫の仲間でない理由のみを書いている。 ・ダンゴムシは、あしが14本あるよ。 ・ダンゴムシは、あしが6本じゃないよ。 ・ダンゴムシは、あたま、むね、はらに分かれていない。  ○(昆虫の)「なかまじゃない」に○のみを付けている。	3    2	○(昆虫の)「なかまじゃない」に○を付け、昆虫の特徴を基に理由を書いている。 ・ダンゴムシはあしが14本あるから。 ・ダンゴムシは、あしが6本じゃないから。 ・ダンゴムシは、あたま、むね、はらに分かれていないから。	5																
		【授業改善の視点】 昆虫の体のつくりの理解に当たっては、複数の種類の昆虫について比較して観察させること。そして、「頭、胸、腹」の3つの部分からできていること、頭には目や触覚、口があること、さらに胸からは3対6本のあしが出ていることを、図で示しながら捉えさせること。「昆虫の有無」の判断は、以上の知識・技能を活用して、根拠を示しながら説明させることが大切である。																						
		(6)	⑥	知識理解			・ア:よう虫 イ:さなぎ ウ:せい虫 (各1点)	3																
		(7)	⑦	知識理解			・さなぎ	1																
(8)		⑧	関心意欲態度	採点基準（6点満点） ＜基準1：昆虫の名前＞（1点） 昆虫の名前を書いている。 ＜基準2：昆虫のすみか＞（2点） 昆虫に合ったすみか（場所）を書いている。 ＜基準3：昆虫の飼い方＞（3点） 昆虫にあった飼育の方法を具体的に書いている。					6															
					<table><tr><th>基準</th><th>採点内容</th><th>配点</th><th>得点</th></tr><tr><td>基準1</td><td>・昆虫の名前</td><td>1点</td><td>・チョウ、カブトムシ、バッタ以外の昆虫 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・1点 ・上の3種類の昆虫または昆虫以外の虫 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・0点</td></tr><tr><td>基準2</td><td>・昆虫のすみか</td><td>2点</td><td>・答えた昆虫に合ったすみか・・・・・・2点 ・時々見かける場所、場所が曖昧・・1点</td></tr><tr><td>基準3</td><td>・昆虫の飼い方</td><td>3点</td><td>・答えた昆虫に合った飼い方が具体的 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・3点 ・答えた昆虫に合った飼い方が曖昧・・2点</td></tr></table>	基準	採点内容	配点	得点	基準1	・昆虫の名前	1点	・チョウ、カブトムシ、バッタ以外の昆虫 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・1点 ・上の3種類の昆虫または昆虫以外の虫 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・0点	基準2	・昆虫のすみか	2点	・答えた昆虫に合ったすみか・・・・・・2点 ・時々見かける場所、場所が曖昧・・1点	基準3	・昆虫の飼い方	3点	・答えた昆虫に合った飼い方が具体的 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・3点 ・答えた昆虫に合った飼い方が曖昧・・2点			
基準	採点内容	配点	得点																					
基準1	・昆虫の名前	1点	・チョウ、カブトムシ、バッタ以外の昆虫 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・1点 ・上の3種類の昆虫または昆虫以外の虫 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・0点																					
基準2	・昆虫のすみか	2点	・答えた昆虫に合ったすみか・・・・・・2点 ・時々見かける場所、場所が曖昧・・1点																					
基準3	・昆虫の飼い方	3点	・答えた昆虫に合った飼い方が具体的 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・3点 ・答えた昆虫に合った飼い方が曖昧・・2点																					
					《配点例1》 (例)＜名前＞・クワガタ ＜場所＞・夜の外とう（電とう）のまわり ＜飼い方＞・木のえだを置く。 ＜採点基準＞ 基準1：昆虫の名前・・・・・・・・・・1点 基準2：昆虫のすみか・・・・・・・・・・1点 基準3：昆虫の飼い方・・・・・・・・・・2点 計4点	○ア、イ、ウの問いに合った答えを、具体的に書いており、3つの間に整合性がある。 (例) ＜名前＞・セミ、クワガタ ＜場所＞・森の中、林の中 ＜飼い方＞ ・し育ばこに入れて、土の上に葉や木のえだ、切りかぶなどを置く。 ・みつ、ゼリーなどの食べ物をやる。																		

大問	中間	小問	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
1					《配点例 2》 (例)＜名前＞・ゲンゴロウ ＜場所＞・水がたまっているところ ＜飼い方＞・飼育箱の中に小石やすなを入れる。 ＜採点基準＞ 基準 1：問いの中の 3 種類以外の昆虫・・・1 点 基準 2：答えた場所が曖昧・・・1 点 基準 3：答えた昆虫に合わない飼い方・・・0 点 			

大問	中間	小問	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
2	(5)		13	思考表現	○イについて、引っぱる強さを長さで書いてはいないが、1回目と比べて書いている。 ・1回目より(に比べて)少しゆるめてみる。  ○比べているが、「1回目より」の文言がない。 ・少しゆるめて引っぱる。 ・少し引っぱる。	3  2	○表2の「じっけん2のけっか」を活用して、車が進む距離を見付け、そこからゴムをのぼす長さを導き出している。 ・ア：15 (2点) ----- ・イ：(車が5mのところで止まるように、)ゴムを10cmの長さまで引っぱって動かす。(4点)	6
					【授業改善の視点】 ここでは、ゴムの「もとに戻ろうとする力」を生かした実験が中心となるが、児童は、遠くまで走らせることに気が向かいがちになる。そこで、事前に「比較して調べる」という視点を明確にして授業に入るとともに、ゴムを「強めたり、弱めたり」する力の違いを体感させ、図表を用いながら習得させていく。			
	(6)		14	知識理解	○「もとに」という基準となる言葉がない。 ・もどる ・もどろうとする	2	○「車を前に動かす」理由として「もとに」を付けて書いている。 ・もとにもどろうとする	3
3	(1)		15	知識理解			・イ	2
	(2)		16	技能			・みゆきさんに○を付けている。	4
	(3)		17	知識理解	○根の部分、少しはみ出して囲んでいる。 	1	○根の部分、正しく囲んでいる。 	2
	(4)		18	技能			○完答の場合のみ正解とする。 エ → イ → オ → ア → ウ	6
	(5)		19	思考表現	○右記の解答文例のキーワードのうち、3つを使って書いている。 ・めが出て、 <u>子葉</u> になり、 <u>花</u> がさいたあとに <u>実</u> ができて、たねができる。  ○右記の解答文例のキーワードのうち、2つを使って書いている。 ・ <u>花</u> がさいたあとに、 <u>実</u> ができる。	3  1	○2つの花の共通した育ち方について、問題文にあるハウセンカの育ちの表(1～6)とヒマワリのカードをもとに、順に書いている。  ○4つのキーワード(アンダーライン部分)を全て使って書いている。 ・ヒマワリもハウセンカも、めが出たあと <u>子葉</u> が広がり、 <u>葉</u> をたくさん付けて <u>花</u> がさく。しばらくすると <u>実</u> ができて、さいごはかれる。	5
4	(1)		20	技能			・イ	4
	(2)		21	知識理解			・イ	2
	(3)		22	技能			・北に○を付けている。	3
	(4)		23	知識理解			・南に○を付けている。	2
	(5)		24	技能	採点基準(5点満点) <基準1：かげの向き>(3点) 午後2時の太陽と木の幹の根もとを結んだ線の延長上に、かげをかいている。 <基準2：かげの長さ>(2点) 午前10時のかげの長さを参考にしてかいている。			5
					基 準	採点内容	配点	得点
					基準1	・かげの向き	3点	・午後2時の太陽と木の幹の根もとを結んだ線の延長上となる反対側にかいている。3点 ・北寄り、東寄りにかいている。・・・2点 ・真北、真東にかいている。・・・0点
					基準2	・かげの長さ	2点	・午前10時の長さとはほぼ同じ・・・2点 ・極端にかげが長い、または短い・・・1点

大問	中間	小問	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
4					<div>《配点例1》 (例)かげの向きは正しいが、長さが極端に短い。 ＜採点基準＞ 基準1：かげの向きが正しい。・・・3点 基準2：かげの長さが極端に短い。・・・1点 計4点</div> <div></div>		<div>○午後2時の太陽と木の幹の根もとを結んだ線の延長上(北東方向)に、適切な長さでかげをかいている。</div> <div></div>	
	(6)		㊫	思考表現	<div>○太陽の動く向きについて、南の空を通過することを含めて書いていない。 ・東の方から西の方に動くから ・東から西へ動くから ○方角で説明せず答えている。 ・かげができる向きと反対の方角に動くから</div>	<div>3</div> <div>2</div>	<div>○太陽の動く向きについて、南の空を通過することを含めて書いている。 ・東の方から、<u>南の空を</u>通って、西の方に動くから</div>	5